

相模原駅周辺地区のまちづくりについて

本日、日米両政府の合意に基づき、相模総合補給廠の一部(約 17ha)の土地が日本政府へ返還されました。本市では、橋本・相模原駅周辺を一体とする広域交流拠点が首都圏南西部全体の成長の源泉となり、両駅周辺の特性を生かした複眼構造を特色とする「さがみはら新都心」の形成に向けて、50年、100年先を見据えたまちづくりを進めております。今回の相模補給廠の一部の返還に伴う相模原駅周辺のまちづくりの取組状況についてお知らせします。

1 返還日 平成 26 年 9 月 30 日(火)

2 主な取組状況

相模原駅周辺地区では、首都圏南西部をリードし、相模原新都心の一翼を担う都市として、「安心とゆとりのある文化・行政が集積する中枢業務拠点」をまちづくりのコンセプトとして掲げております。市といたしましては、中長期的な視点を踏まえ、相模総合補給廠約 214ha の全面返還後のまちづくりを見据えた中で、一部返還地を生かした多様な交流機能を備えた新市街地の形成を進めてまいります。

現在、返還地の利用に向けて、具体的な整備事業、整備スケジュール等について検討するために、本年 8 月に有識者、市内団体代表、交通事業者、公募市民等で構成される「相模原市広域交流拠点整備計画検討委員会」を設置し、約 2 箇年を掛けて整備計画の策定を進めております。

また、小田急多摩線延伸につきましては、本年 5 月 26 日に町田市と「小田急多摩線延伸の推進に関する覚書」を交わし、関係機関との合意形成に向けた取組を協同で進めているところです。

以上を踏まえまして、平成 39 年の実現を目指しております相模原駅周辺地区のまち開き及び小田急多摩線の延伸に向けた取り組みを進めてまいります。

<担当課>

相模原駅周辺まちづくり課

TEL:042-707-7026

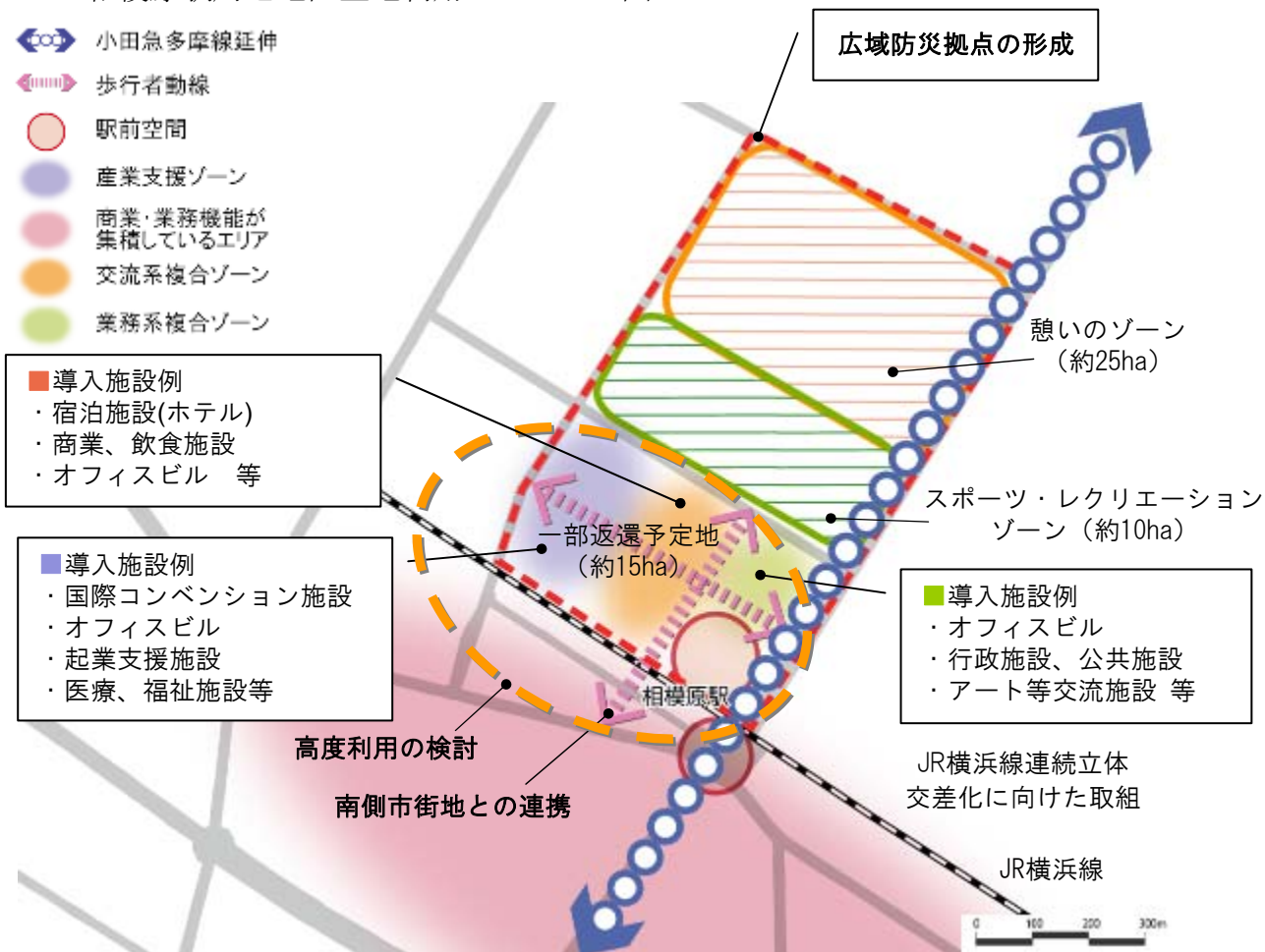
交通政策課

TEL:042-769-8249

■相模総合補給廠返還地について



■相模原駅周辺地区土地利用ゾーニング図



出典/相模原市広域交流拠点基本計画